管　内　情　勢

豊川市の概況

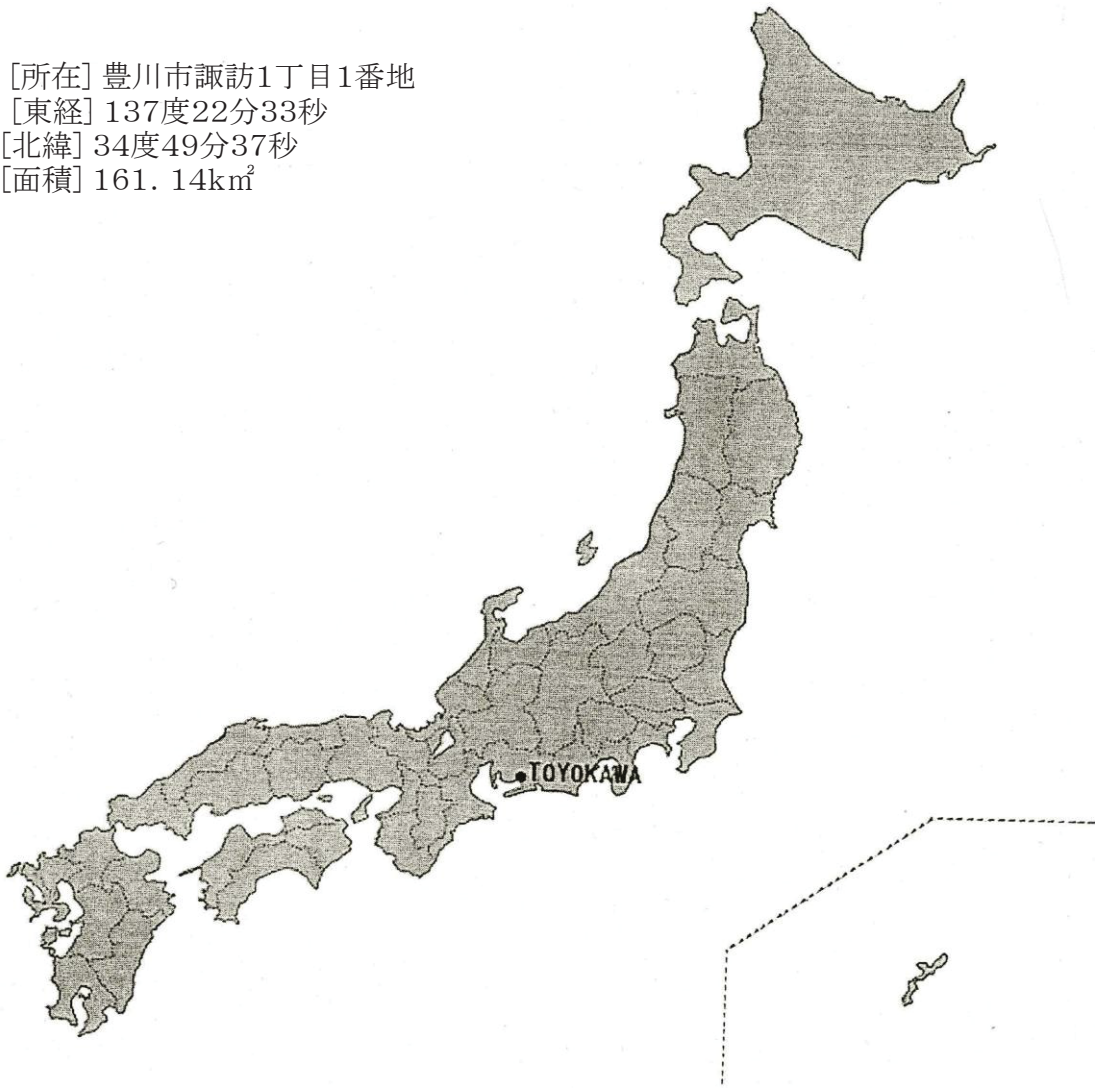
１．豊川市の概況

豊川市は、愛知県の南東部、東三河地方に位置する人口約１８万人の都市です。地域は、豊橋市、岡崎市、蒲郡市、新城市と接し、北部には三河山地南端の山ろく、東部には１級河川の豊川（とよがわ）があり、その間は、平たんな洪積台地と沖積平野が広がり、三河湾に面しています。

交通網として幹線道路は、東名高速道路が東西を貫き、国道１号・２３号・１５１号・２４７号が縦横に走っています。特に東名高速道路は、豊川インターチェンジと音羽蒲郡インターチェンジが、それぞれ国道１５１号と１号で接続しています。

鉄道は、名鉄本線・豊川線、ＪＲ東海道新幹線、ＪＲ東海道本線、飯田線が敷設され、道路・鉄道の要衝地域です。

市の位置（市役所）［所在］豊川市諏訪1丁目1番地
［東経］137度22分33秒
［北緯］34度49分37秒
［面積］161．14㎢



２．管内の世帯数・人口・面積

平成２７年４月１日現在

区　分	世帯	人　口			面　積(㎢)
		総数	男	女	
豊 川 市	71,894	184,944	92,262	92,682	161.14

人口は住民基本台帳人口

消防管轄区域及び消防機関配置図

消防の沿革

昭和２３年	３月　７日	消防組織法（昭和２２年１２月２３日公布、附則昭和２３年３月７日施行）によって自治体消防となると同時に消防本部設置、当時消防団現勢４団（豊川、牛久保、国府、八幡）２０分団
昭和２４年		国府消防団に久保分団設置
昭和２５年		豊川市消防団に北金屋、牧野、三谷原分団設置、総計４団２４分団１，０５５名
昭和２９年	４月２６日	水槽付消防ポンプ自動車購入（積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）、消防本部に配備
	１２月　１日	消防本部独立、専任消防長を置く
昭和３０年	２月　１日	消防署発足、消防長以下２５名
	３月　４日	消防ポンプ自動車を平尾分団に配備
	４月　１日	従来の４団制を豊川市消防団に改組、１分団３０名に縮小、同時に牛久保分団１分団増設、総計１団２５分団７５４名
	１２日	三上村合併により三上分団加入、２６分団７８４名
	５月　３日	三蔵子分団に手引ガソリンポンプを配備
	７月１２日	豊川市危険物安全協会設立
	２０日	千両分団に手引ガソリンポンプを配備
	８月　２日	消防本部新庁舎が市田町諏訪新畑４７－１７に完成、鉄筋コンクリート造一部木造２階建１８６．４５㎡、延べ２０９．５５㎡
昭和３１年	２月　６日	三谷原分団に手引ガソリンポンプを配備
	３月　１日	豊川第３分団に手引ガソリンポンプを配備
	３日	麻生田分団に手引ガソリンポンプを配備
	３１日	豊川市防火委員会設立
昭和３２年	９月１６日	消防ポンプ自動車購入、消防署に配備
昭和３３年	４月　１日	１分団１ポンプ制実施
	１２月　１日	国府町流霞１３３に消防署西部出張所開設、職員１名交替制、消防ポンプ自動車１台を配備
昭和３４年	４月　１日	消防吏員２名増員、消防長以下２７名 御油町合併、御油分団加入、２７分団８１４名 諏訪分団の手引動力ポンプを廃止し、消防署の行う消火活動及び通信事務補助の新任務に就くことになった
	１０月　１日	諮問機関として消防合理化研究会設立
昭和３５年	３月２５日	昭和３４年１０月から合理化研究会において研究された具体計画が定例市議会において可決、昭和３５年４月以降実施となった合理化は、消防団員の減員と委託消防ポンプ自動車の更新の２点で、団員

		については１団２７分団８１４名を、昭和３５年度において１団２６分団６５９名とし、昭和３６年度において１団２６分団５２４名
		委託消防ポンプ自動車とは、終戦直後本市が海軍工廠から４台払下げを受け、豊川、牛久保、国府、八幡の分団に運営管理を委託したものであるが、本市の防災上から言って全市を活動範囲としているものであり、すでに老朽車となり更新しなければならなくなったので、関係方面の特別の協力を得て４年計画で更新することになった
	８月　５日	豊川ロータリークラブから救急車が寄贈され救急業務を開始する
	１１月　１日	消防吏員２名増員、消防長以下２９名
昭和３６年	２月	豊川分団消防ポンプ自動車更新
	１１月	国府分団消防ポンプ自動車更新
	１１月　７日	普通消防ポンプ自動車（２号車）購入、本署に配備
	１１月	防火講演会開催「都市防火と豊川市の防火診断」と題して、東北大学教授工学博士藤田金一郎先生の講演会が日本損害保険協会の後援で開催された
昭和３７年	１月	消防吏員１名増員、消防長以下３０名
	３月　１日	消防吏員２名増員、消防長以下３２名
		豊川町武通４２に消防署東部連絡所開設（鉄筋スレート造平家建１６２．６８㎡職員１名交替制）
	２７日	日本損害保険協会から中型消防ポンプ自動車（Ａ－２）が寄贈され八幡分団に委託した
	３１日	古宿分団を廃止、自警組織となる
	９月２５日	牛久保分団、消防ポンプ自動車更新、以上合理化研究会による消防団消防ポンプ自動車更新計画完了
	１０月２５日	消防署庁舎会議室を増築（１２３．９㎡）
昭和３８年	４月　１日	消防吏員２名増員、消防長以下３４名
	１１月　１日	消防用無線開局
昭和３９年	４月　１日	消防吏員８名増員、消防長以下４２名
	１１月　２日	西部出張所の１名交替制から４名、消防車１台の常駐制となる
	１２月　７日	消防合理化委員会を設置、その基本計画は昭和４４年度を目標に消防本部・署の充実強化、東部連絡所の昇格、牛久保地区への連絡所開設、また、消防団の少数精鋭化、待遇の改善、団員の地位向上を図ることになった
昭和４０年	１月２０日	御油分団を廃止、自警組織となる
	３月３１日	北金屋分団を廃止、自警組織となる
	４月　１日	消防吏員３名増員、消防長以下４５名
	３０日	白鳥分団を廃止、自警組織となる。これにともない１団２２分団４４４名

	６月　１日	毎月１９日を「防火デー」と制定
	８月２８日	救急車購入
昭和４１年	１月　６日	豊川市消防出初式会場において、豊川ロータリークラブから赤バイ（ホンダドリーム）が寄贈された
	３１日	国府町上坊入４５－１に西部出張所新庁舎完成（鉄筋コンクリート造平家建１４０．９４㎡）
	３月	桜町、久保、三谷原分団廃止、自警組織となる
	４月　１日	消防吏員２名増員、消防長以下４７名
	９月１０日	消防ポンプ自動車購入､西部出張所配備
	１１月１０日	指令車購入（ニッサンジープ）
昭和４２年	２月　１日	消防吏員４名増員、消防長以下５１名
	３月　１日	消防吏員６名増員、消防長以下５７名
	３１日	為当分団を廃止、自警組織となる
	４月　１日	東部連絡所を出張所に昇格、消防ポンプ自動車１台、職員４名配置 牛久保町大手５６に南部連絡所開設、職員１名交替制
	５月	三上分団に小型動力ポンプ付積載車を配備
	９月　１日	少年消防クラブ結成
	１０月３０日	水槽付消防ポンプ自動車購入（水Ｉ－Ａ型、積載水量２，０００ﾘｯﾄﾙ）
昭和４３年	３月１６日	連絡車（スズライト）購入
	３月	豊川第１、豊川第２、牧野、中条、市田、八幡分団を廃止、自警組織となる。１２分団２４４名
	４月　１日	予防係専従制開始。消防吏員４名増員、消防長以下６１名
	７月２４日	千両分団に小型動力ポンプ付積載車を配備
	３０日	豊川市自衛消防隊連絡協議会発足（５７事業所）
	７月	消防署、署員待機室を増築
	１２月	東部出張所署員仮眠室、救急車車庫新築
昭和４４年	１月　１日	消防吏員６名増員、消防長以下６７名
	２７日	日本道路公団から東名高速道路上における救急業務を処理するための救急車１台が貸与され、東部出張所に配備
	２月　１日	東部出張所に救急要員６名配置し、東名高速道路の救急業務を開始する
	３月	下長山分団を廃止、自警組織となる　１１分団２２２名（副団長３人制を１人制に改正）
	４月１７日	雑草刈り取り用トラック（ニッサンキャブオール）購入
	１１月１６日	屈折はしご付消防ポンプ自動車（１５m級ボリュートＡ－２）購入、消防署に配備 水槽付消防ポンプ自動車（Ａ－２、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）購入、東部出張所に配備

昭和４５年	３月２６日	麻生田分団廃止、自警組織となる　消防団１０分団２０２名
	４月　７日	連絡車の寄贈を受ける
	５月　１日	平尾分団に小型動力ポンプ付積載車を配備
	２０日	東名高速道路、その他大災害時における患者搬送用として、大黒商事株式会社会長近藤保美氏より大型救急車が寄贈され、消防署に配備
	１１月２７日	オートバイの寄贈
昭和４６年	４月　１日	消防吏員３名増員、消防長以下７０名となる
	１１月　８日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車が寄贈された
昭和４７年	４月　１日	消防吏員２名増員、消防長以下７２名
	８月２６日	救急車（３Ｂ型）購入 当古分団に小型動力ポンプ付積載車を配備
	１２月１９日	中部ガス株式会社から予防広報車（スズキフロンテ）が寄贈された
昭和４８年	１０月　８日	消防団組織の合理的な維持、運営を図るためその実態を検討し、組織及び運営等の改善に関する基本方針について審議するため、消防審議会が設置された　答申に基づいて昭和４９年度から消防副団長２人制となり、総員２０３名団員全員に甲種衣が貸与された
	２５日	三蔵子、下郷分団の小型動力ポンプ付積載車を更新
	１２月　８日	豊川ライオンズクラブから大型水槽車（積載水量６，０００ﾘｯﾄﾙ）が寄贈され、消防署に配備
昭和４９年	２月１５日	豊川市危険物安全協会から指揮車（ニッサンセドリック）が寄贈された
	４月　１日	消防吏員１名増員、消防長以下７３名
	５月２２日	豊川市自警団連絡協議会発足（１８自警団）
	１０月３１日	救急車（３Ｂ型）購入、東部出張所に配備
昭和５０年	１２月　４日	豊川分団、消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型、Ａ－２）更新
昭和５２年	１月１８日	消防署、消防ポンプ自動車（２号車、３段タービンＡ－２）更新
	５月１０日	消防庁舎建設のため、仮庁舎として市内西桜木町鈴木自動車㈱鈴豊寮の一部を借用し移転する
	１０月　７日	当古、三蔵子分団の小型動力ポンプ更新
	１５日	ロック工業㈱から連絡車（ニッサンバイオレットバン）が寄贈された
昭和５３年	２月　９日	日本損害保険協会から救急車（３Ｂ型）が寄贈され、西部出張所に配備
	１８日	国府分団、消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型、Ａ－２）更新
	３月１０日	消防新庁舎完工式を挙行、仮庁舎より新庁舎（鉄筋コンクリート造３階建延面積１，６３３．２２㎡）に移転し業務を開始
	４月　１日	消防吏員５名増員、消防長以下７８名
	５月２６日	鈴木自動車工業㈱から原動機付自転車（スズキバーディー５０）

２台が寄贈された

	７月　１日	消防吏員１名増員、消防長以下７９名
	８月２５日	三上分団、小型動力ポンプ付積載車更新
	９月２９日	豊川ライオンズクラブから広報災害対策車（トヨタハイエース）寄贈された
	１０月　１日	消防本部に管理課を設置
昭和５４年	４月　１日	消防吏員１０名増員、消防長以下８９名
	１０月１６日	日本消防協会から広報車（ニッサンキャラバン）が寄贈された
	１１月２７日	千両分団、小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	１２月１２日	牛久保分団、消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ｉ型、Ａ－２）更新
昭和５５年	１月２７日	南部出張所（仮）配備用水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型）購入
	３月２１日	行明町大井後２１に下郷分団詰所新築（鉄骨カラートタン折板葺２階建延面積４９．１３㎡）
	４月　１日	南部連絡所を出張所に昇格、牛久保町城下１２－１に新築（鉄筋コンクリート造２階建延面積１９８．４６㎡）移転、業務開始 消防吏員２名増員、消防長以下９１名 婦人・少年防火委員会発足 婦人防火クラブ結成
	５月２３日	消防本部貨物自動車（ニッサンキャブオール）更新
	９月２９日	平尾分団、小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	１０月１５日	当古町東本郷８３番地に当古分団詰所新築（鉄骨着色亜鉛鉄板葺平家建５３．４６㎡）
	１１月１２日	小型動力ポンプ付水槽車（積載水量１０，０００㍑、Ｂ－３）を購入、本署に配備
	１２月　２日	第３４回愛知県消防大会が豊川市文化会館において開催された
	１８日	指揮車（ニッサンセドリック）更新
昭和５６年	２月１６日	本署救急車（３Ｂ型）更新 水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００㍑）を購入、西部出張所に配備
	３月２０日	軽四輪車（スズキフロンテ、スズキキャリーバン、スズキアルト２台）４台購入
	４月　１日	消防本部、署の機構改革に伴い本部に総務課、予防課を置く 消防吏員９名増員、消防長以下１００名
	１０日	愛知県消防長会が豊川市勤労福祉会館で開催された
	５月　１日	幼年消防クラブ結成
	９月３０日	西部出張所増築（軽量鉄骨ブレース造２階建延９７．２０㎡）
	１０月　１日	宝飯郡音羽町消防事務受託業務開始
	３１日	三上町天神前１４の３に三上分団詰所新築（鉄骨着色亜鉛鉄板葺平

家建５３．４６㎡）

１１月　９日　小型動力ポンプ付水槽車（積載水量５，０００㍑、Ｂ－３）を購入、西部出張所に配備

２７日　諏訪分団、消防ポンプ自動車（ＢＤ－１型、Ａ－２）更新

１２月　７日　本署、水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量２，０００㍑）更新

東部出張所、水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００㍑）更新

昭和５７年　２月２３日　日本損害保険協会から救急車（２Ｂ型）が寄贈され、東部出張所に配備

３月１５日　豊川町礼通１９番地に東部出張所を新築移転（鉄筋コンクリート造２階建延５５３．８５㎡）業務開始

２３日　日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，６００㍑）が寄贈され、東部出張所に配備

４月　１日　宝飯郡一宮町消防事務受託業務開始

東・西部出張所を東・西分署に昇格

消防吏員１３名増員、消防長以下１１３名

８月２６日　日本消防協会から指令広報車（三菱ギャランΣバン）が寄贈された

９月　６日　当古分団、小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新

１０月　１日　宝飯郡小坂井町、御津町消防事務受託業務開始

１１月　９日　愛知県共済生活協同組合から消防広報車（トヨタカリーナ）が寄贈された

１２月１１日　小型動力ポンプ付水槽車（積載水量１０，０００㍑、Ｂ－３）購入、東分署に配備

昭和５８年　１月１２日　救助工作車購入、本署に配備

４月　１日　消防吏員１２名増員、消防長以下１２５名

大橋、上宿が自警団連絡協議会に加入（２０自警団）

７月２６日　第２８回愛知県消防操法大会が開催された

１０月２１日　三蔵子・下郷分団、小型動力ポンプ付積載車更新

１２月１３日　Ⅱ型化学消防ポンプ自動車（Ａ－２、積載水量１，３００㍑、薬液５００㍑）購入、本署に配備

御津出張所（仮）配置用水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００㍑）購入

２０日　豊川町武通４２番地に豊川分団詰所（鉄骨平家建７３．１７㎡）を新築

昭和５９年　４月　１日　御津出張所を宝飯郡御津町大字泙野字村崎８９に新築（鉄筋コンクリート造２階建延２５０．３４㎡）業務開始（消防吏員１０名、水槽付消防ポンプ自動車１台）

		消防吏員４名増員、消防長以下１２９名
	１２月１９日	小坂井出張所（仮）配置用水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００㍑）購入
昭和６０年	３月２６日	新鋭はしご付消防ポンプ自動車（３０m級、Ａ－２）購入、消防署に配備
	４月　１日	御油町行力１９番地に西分署を新築移転（鉄筋コンクリート造２階建延５５０．４５㎡）業務開始 宝飯郡小坂井町大字小坂井字大堀２－１に小坂井出張所を新築（鉄筋コンクリート造２階建延２５１．７３㎡）業務開始（消防吏員１０名、水槽付消防ポンプ自動車１台） 消防吏員１２名増員、消防長以下１４１名
	５月２５日	豊川市消防署発足３０周年記念式を市役所第１会議室で開催する
	６月１２日	豊川市危険物安全協会創立３０周年記念として、同協会より防火広報車（トヨタタウンエース）が寄贈された
	８月２７日	財団法人日本消防協会から救急車（２Ｂ型）か寄贈され、西分署に配備
	３０日	豊川市消防署３０周年を記念し、森田ポンプ(株)名古屋営業所から消防ポンプ自動車（Ａ－２）が寄贈され、消防署に配備
	１１月　８日	第４回愛知県防火推進大会が豊川市文化会館で開催された
昭和６１年	３月１０日	国府町上坊入４５－１に国府分団詰所（鉄骨平家建７３．１７㎡）を新築
	２５日	指揮車（トヨタクラウン）更新、消防本部に配備
	４月　１日	一宮町大字東上字松本９０－１に一宮出張所を新築（鉄筋コンクリート造２階建延２５１．７３㎡）業務開始（消防吏員１０名、水槽付消防ポンプ自動車１台） 消防吏員３名増員、消防長以下１４４名
	１０月２５日	第３５回東三河地区消防大会が豊川市文化会館で開催された
	１１月　５日	宝飯郡音羽町大字長沢、音羽蒲郡インターチェンジ内において、愛知県下高速道路消防連絡協議会、豊川市消防本部の主催で、関係機関の協力のもと、高速道路における総合消防訓練を実施した
	２１日	東名高速道路音羽蒲郡インターチェンジ及び県道長沢蒲郡線音羽蒲郡有料道路開通
	２７日	Ⅱ型化学消防ポンプ自動車（Ａ－２、積載水量１，３００㍑、薬液５００㍑）を購入、西分署に配備
	１２月１７日	平尾町中貝津１に平尾分団詰所（鉄骨造平家建６０．０１㎡）を新築
昭和６２年	４月　１日	豊川市消防団中条分団を設置し、１団１１分団総員２２３名となる（１９自警団となる）

		消防吏員２名増員、消防長以下１４６名
	８月２８日	中条町宮坪２１－１に中条分団詰所（鉄骨２階建５３．０５㎡）を新築。同時に小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）配備
	９月　１日	愛知県総合防災訓練が、愛知県と豊川市の主催により、陸上自衛隊豊川駐屯地訓練場を主会場として市内各地において開催された
	２４日	連絡車（トヨタタウンエース）更新
昭和６３年	３月１５日	愛知県共済生活協同組合より救急車（２Ｂ型）が寄贈され消防署に配備
	４月　１日	消防吏員５名増員（内２名清算事業団研修生）消防長以下１４９名 主任制度採用
	８月２３日	財団法人日本消防協会から指令広報車（三菱ランサーバン）が寄贈された
	１０月１３日	救急救助用資機材を購入、救助工作車に配備
	２５日	豊川分団、消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）更新
	１１月１０日	千両町糸宅８０－４に千両分団詰所（鉄骨造平家建６０．００㎡）を新築
	２５日	災害対策車（ライトエース）広報車（ライトエース）更新
平成 元 年	１月３１日	査察車（スズキエブリー）更新、東分署及び西分署に配備 査察指導車（スズキエブリー）更新、予防課に配備
	２月２８日	査察広報車（トヨタスプリンター）更新、予防課に配備
	３月１６日	愛知県共済生活協同組合より救急車（２Ｂ型）が寄贈され東分署に配備
	４月　１日	谷川、上野、向河原、二葉が自警団連絡協議会に加入（２３自警団） 消防吏員２名増員、消防長以下１４９名
	１０月１７日	国府分団、消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）更新
	３０日	消防広報車（トヨタコロナ）更新、総務課に配備
	１１月２５日	屈折はしご付消防ポンプ自動車（２０ｍ級、Ａ－２）更新、東分署に配備
平成 ２ 年	２月２８日	三蔵子町宮前３２に三蔵子分団詰所（鉄骨造２階建５３．４６㎡）を新築 救急車（２Ｂ型）更新、西分署に配備
	５月１４日	査察車（スズキエブリー）を４台購入、南部出張所始め４出張所に配備
	２１日	水防用トラック（いすゞエルフ）更新、総務課に配備
	８月　３日	三上分団に小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	１２月２０日	諏訪３丁目２４２－１に諏訪分団詰所（鉄骨平家建７６．９５㎡）を新築 東分署車庫部分を増築（６３．１４㎡）

平成 ３ 年	３月　４日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）更新、南部出張所に配備
	２２日	通信指令機器を、消防緊急情報システムⅡ型に更新
	２５日	消防超短波無線電話装置（救急波基地局）を設置
	２７日	愛知県共済生活協同組合から消防広報車（トヨタカリーナ）が寄贈された
	３０日	消防情報緊急システムⅡ型の導入に伴い、手狭となった通信指令室の改造をするとともに北庁舎（鉄筋コンクリート造３階建５５．４９㎡）を増築、訓練塔も新築移転した
	４月　１日	中部が自警団連絡協議会に加入（２４自警団） 消防吏員３名採用、消防長以下１４８名
	５月１４日	査察車（スズキエブリー）を購入、本署に配備
	７月３０日	千両分団に小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	１１月２９日	牛久保分団に消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）更新
	１２月１６日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）に更新、西分署に配備 消防超短波無線電話装置（全国波…基地局）を設置
平成 ４ 年	３月１７日	救急車（２Ｂ型）に更新、消防署に配備
	２４日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量２，０００ﾘｯﾄﾙ）更新、消防署に配備 水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）更新、一宮出張所に配備
	２５日	牛久保町大手５６－１に牛久保分団詰所（鉄骨造平家建７６．９５㎡）を新築
	４月　１日	消防吏員４名採用、消防長以下１５１名
	５月２５日	防火広報車（ニッサンホーミー）更新、予防課に配備
	８月２６日	平尾分団に小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	１２月１１日	化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型、積載水量１，３００ﾘｯﾄﾙ、薬液５００ﾘｯﾄﾙ）更新、消防署に配備
平成 ５ 年	３月２４日	小型動力ポンプ付水槽車（積水量１０，０００ﾘｯﾄﾙ、Ｂ－３）更新、西分署に配備
	２９日	消防署の救急車を高規格救急車に更新
	４月　１日	消防吏員８名採用、消防長以下１５８名
	６月　７日	査察指導車（ホンダストリート）更新、予防課に配備
	９月１６日	柑子町五反田１３１に下郷分団詰所（鉄骨平家建５２．２４㎡）を新築
	１０月　１日	救急用心電図伝送装置を豊川市民病院に設置し、運用開始
	２８日	諏訪分団に消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）更新

	１１月　８日	小型動力ポンプ付水槽車（積水量１０，０００ﾘｯﾄﾙ、Ｂ－３）更新、消防署に配備
平成　６　年	１月２４日	消防本部車（ニッサングロリア）購入、総務課に配備
	４月　１日	消防吏員４名採用、消防長以下１５９名
	５月３１日	査察車（スズキキャリーバン）更新、東・西分署に配備
	６月２０日	連絡車（ニッサンホーミー）更新、総務課に配備
	８月２６日	当古分団に小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
平成　７　年	２月２８日	救急車（２Ｂ型）更新、東分署に配備
	３月　７日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）更新、東分署に配備
	４月　１日	消防吏員５名採用、消防長以下１６５名
	６月２８日	財団法人日本消防協会から査察広報車（トヨタコロナ）が寄贈された 広報車（トヨタタウンエース）更新、予防課に配備
	８月　３日	第４０回愛知県消防操法大会が、豊川市陸上競技場で開催された
	１０月　４日	三蔵子分団、下郷分団に小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	１２月　８日	小型動力ポンプ付水槽車（積載水量１０，０００ﾘｯﾄﾙ、Ｂ－３）更新、東分署に配備
平成　８　年	１月１９日	救助工作車（Ⅱ型）更新、消防署に配備
	３月１４日	御油町河原畑２６－１に御油分団詰所（鉄骨造平家建、７６．９５㎡）を新築
	１５日	御油分団に消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）購入
	４月　１日	豊川市消防団御油分団を設置し、１団１２分団総員２４３名となる 消防吏員９名採用、消防長以下１７０名
	２４日	救急用心電図伝送装置に関する覚書を医療法人宝美会青山病院と締結
	５月１４日	査察車（ダイハツハイゼット）更新、御津・小坂井・一宮・南部出張所に配備
	８月３０日	財団法人日本宝くじ協会から消火通報訓練指導車（マツダボンゴ）が寄贈された
	１２月２７日	愛知県震度情報ネットワークシステムの管理・運営に関する覚書を愛知県と締結
平成　９　年	２月１９日	豊橋信用金庫から救急車（２Ｂ型）が寄贈され、西分署に配備
	２７日	桜町分団（仮称）用地２０１㎡を購入
	３月　５日	音羽蒲郡有料道路（清田トンネル）無線基地局の設置に伴う協定書を愛知県道路公社と締結
	２７日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）更新、御津出張所に配備

平成１０年	１月３０日	携帯電話等緊急通報に係る転送等に伴う協定書を豊橋市と締結
	３月　５日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）更新、小坂井出張所に配備
	６日	東分署の救急車を高規格救急車に更新
	１３日	桜町２丁目８番地２１に桜町分団詰所（鉄骨造平家建６０．０㎡）を新築、及び小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）を購入
	４月　１日	消防団員招集サイレン遠隔吹鳴装置を設置し、運用開始 豊川市消防団桜町分団を設置し１団１３分団総員２６３名となる 消防吏員５名採用、消防長以下１７０名
	６月２９日	指令広報車（マツダボンゴ）更新、予防課に配備
	１１月１９日	災害対策車（トヨタハイエース）更新、消防署に配備 豊川市消防本部公式ホームページ試行運用開始
平成１１年	４月　１日	消防吏員２名採用、消防長以下１７２名 豊川市消防本部公式ホームページ本格運用開始
	８月　３日	救助活動中に職員１名殉職
	１１月３０日	Ⅱ型化学消防ポンプ自動車（Ａ－２、積載水量１，３００ﾘｯﾄﾙ、薬液５００ﾘｯﾄﾙ）更新、西分署に配備
平成１２年	３月１４日	高規格救急車を更新、本署に配備 日本損害保険協会から高規格救急車を寄贈され、西分署に配備
	８月　７日	はしご付消防自動車（４０メートル級）更新、本署に配備
平成１３年	４月　１日	消防吏員３名採用、消防長以下１７１名 消防団の強化対策で方面体制（４方面隊）を導入し、副団長を２名増員し４名とする
	５月１７日	査察車（ダイハツハイゼット）更新、本署に配備
	８月　３日	消防本部連絡車（トヨタハイエース）更新、総務課に配備
	７日	中条分団、小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	９月１９日	水難救助用ボート（アルミ製）更新、本署に配備
平成１４年	１月２４日	愛知県共済生活協同組合から消防広報車（スズキエスクード）が寄贈された
	２月２８日	豊川分団、消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）更新
	４月　１日	消防吏員４名採用、消防長以下１７１名
平成１５年	３月１８日	東分署に消毒室（鉄骨造２階建１９９．２５㎡）を増築
	４月　１日	消防吏員４名採用、消防長以下１７５名
	６月２４日	資材運搬車を更新、本署に配備
	７月２８日	査察車（スズキエブリー）更新、東分署・西分署に配備
	１２月　８日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）を更新、南部出張所に配備
平成１６年	３月　９日	国府分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）を更新

	４月　１日	消防吏員２名採用、消防長以下１７５名
	５月１３日	査察車（ダイハツハイゼット）を更新、小坂井出張所・一宮出張所に配備
	７月２７日	三上分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	２８日	消防本部車（トヨタカムリ）を更新、総務課に配備
	１０月　１日	消防指令センター運用開始
平成１７年	１月１９日	高規格救急車を更新、消防署に配備
	３月　８日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量２，０００ﾘｯﾄﾙ）を更新、消防署に配備
		水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）を更新、西分署・一宮出張所に配備
	４月　１日	消防吏員５名採用、消防長以下１７４名
	７月１４日	千両分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）を更新
	１１月１５日	牛久保分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）を更新
	１２月２２日	東分署の２０ｍ級屈折はしご付消防自動車を更新
平成１８年	２月　１日	宝飯郡一宮町と合併
		職員２名増員　消防長以下１７６名
		豊川市消防団組織　１団５方面隊１６分団７部
		団長以下４１４名
	４月　１日	消防吏員消防長以下１７４名
	６月１１日	愛知県との共催で、風水害対応の総合防災訓練を豊川市いこいの広場において開催
	８月　８日	平尾分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）を更新
平成１９年	２月２３日	高規格救急車を更新、消防署・西分署に配備
	３月　５日	指揮隊車（トヨタハイエース）を更新、消防署に配備
	１５日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）を更新、東分署に配備
	２４日	一宮町豊１番地に一宮出張所を新築（鉄骨造２階建一部平家建延５３８．７２㎡）移転、新たに高規格救急車を配備し業務開始
	４月　１日	行政機構改革により、総務部防災対策課が消防本部へ移管される
		消防吏員８名採用、消防長以下１８０名（うち防災対策課５名）
		再任用吏員４名採用（定数外）
	７月　２日	豊川市諏訪１丁目１番地（豊川市役所内）へ消防本部（総務課・予防課）を移転、業務開始
	１１月２９日	査察車（スズキエブリー）を更新、御津出張所に配備
	１２月１３日	小型動力ポンプ付水槽車（積載水量１０，０００ﾘｯﾄﾙ、Ｂ－３）を更新、西分署に配備
	２０日	災害対策車（ウニモグ）を更新、本署に配備

平成２０年	１月１５日	宝飯郡音羽町及び御津町と合併
		職員２名増員　消防長以下１８２名（うち防災対策課６名）
		豊川市消防団組織　１団７方面隊２２分団７部
		団長以下　５９４名（定員）
	２月２２日	諏訪分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新
	２６日	財団法人日本消防協会から指令広報車（パジェロ）が寄贈された
	４月　１日	消防吏員６名採用、消防長以下１８３名（うち防災対策課６名）
		再任用吏員３名採用（定数外）
		女性団員３名採用、機能別団員発足３６名採用
	８月１８日	当古分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）を更新
	９月２９日	消火・通報訓練指導車を更新、予防課に配備
	１２月　２日	小型動力ポンプ付水槽車（積載水量１０，０００㍑、Ｂ－３）を更新、本署に配備
平成２１年	２月２５日	愛知県共済生活協同組合から広報連絡車（アイシス）が寄贈された
	４月　１日	消防吏員８名採用、消防長以下１８３名（うち防災対策課６名）
		再任用吏員６名採用（定数外）
		機能別団員１７名採用４８名
	６月２６日	広報車（トヨタノア）を更新、予防課に配備
	９月１７日	三蔵子、下郷、萩、長沢分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）更新
	１０月２３日	高規格救急自動車を更新、東分署に配備
平成２２年	２月　１日	宝飯郡小坂井町と合併
		職員１名増員　消防長以下１８４名（うち防災対策課７名）
		豊川市消防団組織　１団８方面隊２６分団７部
		団長以下　７５１名（定員）
		災害支援車（ニッサンアトラス旧小坂井町車両）を消防署に配備
	４日	御油分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新
	１６日	愛知県共済生活協同組合から広報連絡車（アイシス）が寄贈された
	３月２５日	火災原因調査車（トヨタハイエース）を更新、予防課に配備
	４月　１日	消防吏員４名採用、消防長以下１８４名（うち防災対策課７名）
		再任用吏員１名採用（定数外）
		団長以下　７１６名（定員）
		女性団員１名採用４名、機能別団員１７名採用５８名
	８月　１日	消防士像「若き志」が前澤　英氏より寄贈され、豊川市長出席のもと、除幕式を開催
	１１月２４日	一宮第１分団第１部、御津第１分団、御津第３分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新
平成２３年	２月　９日	救助工作車（Ⅱ型）を更新、本署に配備
	１４日	赤坂分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）更新

	２１日	小型動力ポンプ付水槽車（積載水量９，０００ﾘｯﾄﾙ、Ｂ－３）を更新、東分署に配備
	４月　１日	消防吏員４名採用、消防長以下１８４名（うち防災対策課６名） 再任用吏員１名採用（定数外） 女性団員１名採用５名、機能別団員２９名採用７７名
	１０月　７日	桜町分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）を更新
	１１月　４日	ひまわり農業協同組合から高規格救急自動車が寄贈され、本署に配備
平成２４年	２月２７日	愛知県共済生活協同組合から広報連絡車（サクシード）が寄贈された
	３月２７日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）を更新、御津出張所に配備
	４月　１日	消防吏員３名採用、消防長以下１８５名（うち防災対策課６名） 再任用吏員２名採用（定数外） 団長以下７１６名（定員）、機能別団員７６名
	１０月１７日	愛知県共済生活協同組合から広報連絡車（サクシード）が寄贈された
平成２５年	１月２３日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）を更新、小坂井出張所に配備
	２月２６日	小坂井第４分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）を更新
	４月　１日	御津出張所、小坂井出張所を統廃合し御津町下佐脇野先５２番４に、南分署を新築（鉄骨造２階建延１，１５７．９５㎡）、業務開始 消防吏員３名採用、消防長以下１８６名（うち防災対策課６名） 再任用吏員１名採用（定数外） 団長以下６７６名（定員） 機能別団員を支援団員に名称変更　支援団員７１名
	９月２４日	小坂井第１分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）を更新
	１０月　１日	小坂井町大堀２の１（旧小坂井出張所）に小坂井第１分団詰所を移転
	１０月２２日	高規格救急自動車を更新、西分署、南分署、一宮出張所に配備
	１２月１２日	査察広報車を更新、東分署に配備
平成２６年	３月３１日	南部出張所を廃止
	４月　１日	消防吏員７名採用、消防長以下１８６名（うち防災対策課６名） 再任用吏員４名採用（定数外） 団長以下７５４名（定員）うち支援団員７８名 女性団員１名採用５名
	１２月　５日	化学車を更新、西分署に配備
	１１月　７日	小坂井第３分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）を更新
平成２７年	１月２８日	一宮第３分団１部、御津第２分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－１）を更新

４月　１日　　消防吏員５名採用、消防長以下１８７名（うち防災対策課６名）
再任用吏員３名採用（定数外）
団長以下７５４名（定員）うち支援団員７９名